

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和3年度 要求額 (千円)	令和3年度 最終査定額 (千円)		令和3年度 要求額 (千円)	令和3年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
総務部	学務課	小学校教育振興事業	629,013	487,353	卒業アルバム代	13,269	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	1
					オンライン学習費	79,612	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	
総務部	学務課	中学校教育振興事業	382,852	284,246	卒業アルバム代	12,119	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	3
					オンライン学習費	47,231	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	
学校教育部	学校指導課	学校図書館教育推進事業	101,313	101,313	学校司書の増員	18,998	18,998	要求通り	—	5
学校教育部	学校指導課	社会的実践力向上推進事業	131,521	98,036	新型コロナ対応サポーターの配置	30,072	30,072	要求通り	—	7
学校教育部	生徒指導課	部活動推進事業	120,366	100,984	部活動指導員の増員	19,526	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	9
学校教育部	生徒指導課	スクールソーシャルワーカー活用事業	102,670	87,509	スクールソーシャルワーカーの増員及び単価増	56,294	41,133	積算を精査	数量の精査	11
学校教育部	生徒指導課	スクールカウンセラー配置事業	97,902	81,879	スクールカウンセラーの増員	16,023	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	13
学校教育部	人権教育課	多文化共生推進事業	21,065	21,065	日本語指導体制の拡充	2,839	2,839	要求通り	—	15

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和3年度 要求額 (千円)	令和3年度 最終査定額 (千円)		令和3年度 要求額 (千円)	令和3年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
教育センター	企画情報課	学校教育ICT化推進事業	2,490,255	2,384,840	学習者用端末賃貸借(GIGAスクール)	645,388	645,388	要求通り	—	17
					教育用クラウドプラットフォーム賃貸借(GIGAスクール)	331,268	331,268	要求通り	—	
					GIGAスクールサポーターの配置	93,660	93,660	要求通り	—	
					家庭学習用インターネット通信回線等の提供業務	24,840	15,983	積算を精査	単価の精査	
					教育情報ネットワーク各システム構築	14,192	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	
					堺市立中学校教育用コンピュータシステム一式の賃貸借	52,829	29,169	内容を精査	実施手法の精査	
					堺市立学校園校務用端末一式の賃貸借	26,919	990	内容を精査	実施手法の精査	
学校管理部	学校給食改革室	中学校給食改革事業	43,643	43,643	給食センターの整備・運営に関する準備行為	3,385	3,385	要求通り	—	19
					中学校内環境整備	16,797	16,797	要求通り	—	

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画 / 施策番号
3-(5)

局・課名 : 教育委員会事務局・学務課

事業名	小学校教育振興事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額	
					442,783	524,822
事業概要 【目的】 学校教育法に、保護者は子に9年の普通教育を受けさせる義務を負うこと及び経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して市町村は必要な援助を与えなければならないことが規定されている。 本事業はそうした保護者に対して、就学に必要な費用を援助することにより、教育の機会均等の確保に務めている。 【内容】 <就学援助費> 4月から翌2月末の間に就学援助の申請を行った保護者の内、前年所得が認定基準額を下回る場合、年3回に分けて学用品費等を支給する。 <支援学級等就学奨励費> 支援学級に在籍するか、他校通級している児童の保護者の申請に基づき、収入額が必要額の2.5倍未満の保護者に学用品費等を支給。 なお、2.5倍以上であっても通学に公共交通機関を利用している場合には、通学費を支給。(交流活動交通費は3.5倍未満の場合に支給) 【今年度要求のポイント】 <就援>支給単価を国の令和3年度予算要求単価に改定することにより、保護者負担の軽減を行い、子育て支援の充実を図る。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
		R ~ R				
	主な要求内容 (単位:千円)					
	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等		
	就学援助費	487,624	580,193	学用品費等 6530人		
	就学援助費(震災関連)	520	503	学用品費等 6人		
	支援学級等就学奨励費	36,678	48,317	学用品費等 989人		
	合計	524,822	629,013			
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～2年度)】 昭和28年度から実施 平成30年度新1年生に入学用品費早期支給実施 入学用品費・学用品費を国の補助単価に改定		【3年度】 継続 <就援> 国の予算要求単価に改定		【今後予定(4年度～)】 継続		
その他 特記事項						
関連事業: 中学校教育振興事業						

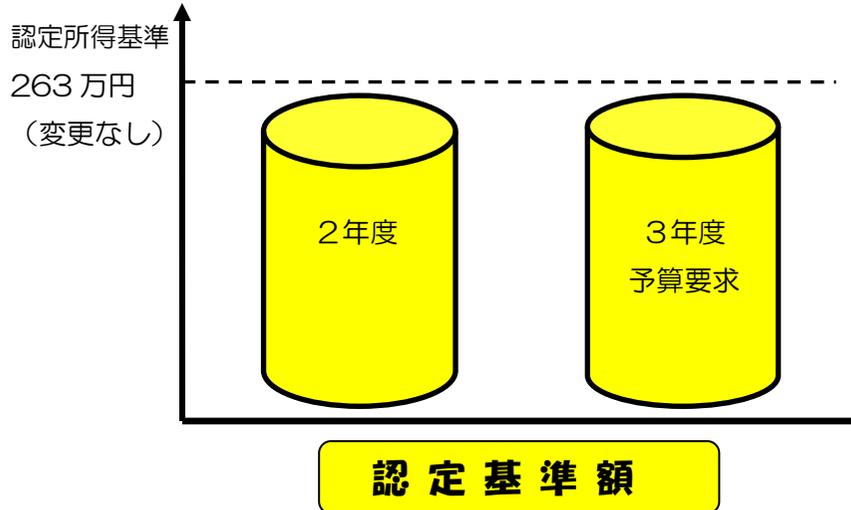
令和3年度小・中学校教育振興事業（就学援助予算）

「就学援助」とは

経済的な理由により就学困難なご家庭にお子さんが学校で安心して勉強できるよう、学用品費や小学校給食費などの費用の一部を援助する制度です。

経済的困難な世帯を支援するため

- 就学援助の認定基準額については、現状の認定基準額の維持に努める。
- 令和4年度の小中学校新1年生に、入学準備金を早期支給する。



※4人世帯（35歳、30歳、9歳、4歳）で試算しています。

法的根拠

学校教育法 第19条

「経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」

支給額を増やして子育て支援の充実を図る

支給単価を国の令和3年度概算予算要求単価に改定することにより、保護者負担の軽減を行い、子育て支援の充実を図る。

予算要求ポイント



小学生

【支給額】 (現行) ⇒ (令和3年度予算要求単価)
 入学用品費 51,060円⇒75,370円 (国の予算要求単価)
 卒業アルバム代 0円⇒11,000円 (新設費目)
 オンライン学習費 0円⇒12,000円 (新設費目)
 ※修学旅行費は実費支給です。



中学生

【支給額】 (現行) ⇒ (令和3年度予算要求単価)
 入学用品費 60,000円⇒69,260円 (国の予算要求単価)
 卒業アルバム代 0円⇒8,800円 (新設費目)
 オンライン学習費 0円⇒12,000円 (新設費目)
 ※修学旅行費は実費支給です。

○市から国に対し、就学援助への財政措置要望は引き続き行っていきます。

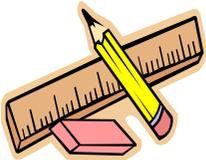
令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画 / 施策番号
3-(5)

局・課名：教育委員会事務局・学務課

事業名	中学校教育振興事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額	
					277,423	339,614
【目的】 学校教育法に、保護者は子に9年の普通教育を受けさせる義務を負うこと及び経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して市町村は必要な援助を与えなければならないことが規定されている。 本事業はそうした保護者に対して、就学に必要な費用を援助することにより、教育の機会均等の確保に務めている。 【内容】 <就学援助費> 4月から翌2月末の間に就学援助の申請を行った保護者の内、前年所得が認定基準額を下回る場合、年3回に分けて学用品費等を支給する。 <支援学級等就学奨励費> 支援学級に在籍するか、他校通級している生徒の保護者の申請に基づき、収入額が需要額の2.5倍未満の保護者に学用品費等を支給。 なお、2.5倍以上であっても通学に公共交通機関を利用している場合には、通学費を支給。(交流活動交通費は3.5倍未満の場合に支給) <中学校夜間学級就学援助費> 堺市在住で府内の中学校夜間学級に通学する生徒を対象として、経済的な理由で就学困難な者に学用品費等を支給。 ただし、全出席日数の1/2以上の者に限る。 【今年度要求のポイント】 <就援>支給単価を国の令和3年度予算要求単価に改定することにより、保護者負担の軽減を行い、子育て支援の充実に努める。	期間	要求額(千円)				
	R ~ R					
	主な要求内容 (単位:千円)					
	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等		
	就学援助費	323,544	365,099	学用品費等 3944人		
	就学援助費(震災関連)	347	454	学用品費等 7人		
	支援学級等就学奨励費	12,643	14,488	学用品費等 316人		
	中学校夜間学級就学援助費	3,080	2,811	学用品費等 49人		
	合計	339,614	382,852			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～2年度)】 <就援> 昭和28年度から実施 平成30年度新1年生に入学用品費早期支給実施 入学用品費、学用品費を国の補助単価に改定		【3年度】 継続 <就援> 国の予算要求単価に改定		【今後予定(4年度～)】 継続		
その他 特記事項						
関連事業: 小学校教育振興事業						

令和3年度小・中学校教育振興事業（就学援助予算）

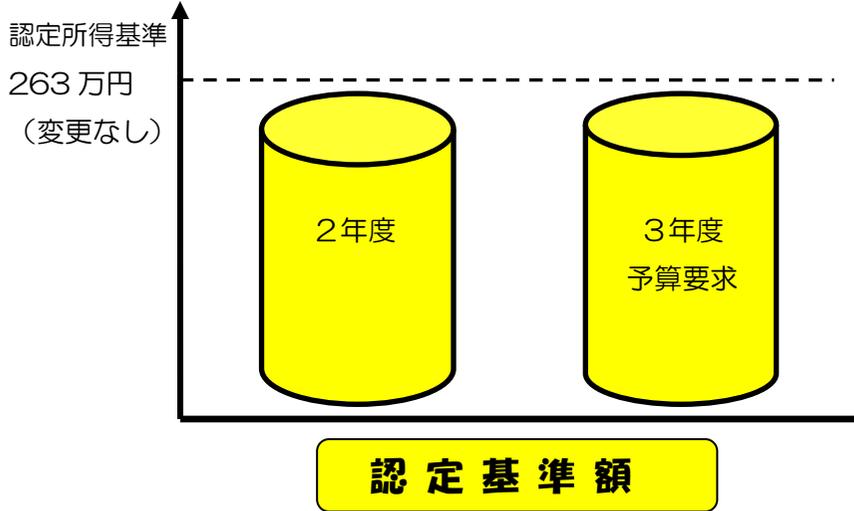


「就学援助」とは

経済的な理由により就学困難なご家庭にお子さんが学校で安心して勉強できるよう、学用品費や小学校給食費などの費用の一部を援助する制度です。

経済的困難な世帯を支援するため

- 就学援助の認定基準額については、現状の認定基準額の維持に努める。
- 令和4年度の小中学校新1年生に、入学準備金を早期支給する。



※4人世帯（35歳、30歳、9歳、4歳）で試算しています。



法的根拠
 学校教育法 第19条
 「経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」

予算要求ポイント

支給額を増やして子育て支援の充実を図る

支給単価を国の令和3年度概算予算要求単価に改定することにより、保護者負担の軽減を行い、子育て支援の充実を図る。



小学生

【支給額】	(現行)	⇒ (令和3年度予算要求単価)
入学用品費	51,060円	⇒ 75,370円 (国の予算要求単価)
卒業アルバム代	0円	⇒ 11,000円 (新設費目)
オンライン学習費	0円	⇒ 12,000円 (新設費目)

※修学旅行費は実費支給です。



中学生

【支給額】	(現行)	⇒ (令和3年度予算要求単価)
入学用品費	60,000円	⇒ 69,260円 (国の予算要求単価)
卒業アルバム代	0円	⇒ 8,800円 (新設費目)
オンライン学習費	0円	⇒ 12,000円 (新設費目)

※修学旅行費は実費支給です。

○市から国に対し、就学援助への財政措置要望は引き続き行っていきます。

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画 / 施策番号
3-(2)・3-(4)・

局・課名：教育委員会事務局 学校指導課

事業名	学校図書館教育推進事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額																																				
			74,974	91,218	101,313																																				
<p>【目的】 学校図書館の3つの機能(読書センター・学習センター・情報センター)を構築し、学校図書館の活性化を図る。</p> <p>【内容】 ○学校図書館職員(OB非常勤職員)を拠点校に配置 ・5小中学校(月州中、三宝小、浜寺東小、東深井小、野田中)を各区の事業推進の拠点として、有資格者の「学校図書館職員」を配置する。 ○学校司書(非常勤職員)を小中学校に配置(拠点校を除く) ・中学校21名を継続して採用。 ・小学校22名を継続して採用。22名を新規採用。小・中で計65名の学校司書を配置する。 ○学校図書館サポーターの配置 ・学校図書館をサポート人材として「学校図書館サポーター」を小105回・中70回ともに配置する。 ○研修の充実 学校司書の育成 ○学校図書館職員による小学校巡回訪問の実施</p> <p>【今年度要求のポイント】 小学校学校司書の1校あたりの勤務日数を、中学校と同様に週2日に拡充する。 1校あたりのサポーターの配当回数は、小学校学校司書配置の拡充を前提に小学校105回・中学校70回とする。(学校司書が配置されなかった場合は小学校140回 中学校70回)</p>	<p>債務負担行為</p> <p style="text-align: center;">期間 R ~ R</p>	要求額(千円)																																							
		<p>主な要求内容 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 10%;">2年度予算</th> <th style="width: 10%;">3年度要求額</th> <th style="width: 50%;">内容・積算等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校図書館職員</td> <td style="text-align: right;">15,003</td> <td style="text-align: right;">15,003</td> <td>5名、報酬、通勤費、出張旅費</td> </tr> <tr> <td>学校司書</td> <td style="text-align: right;">36,722</td> <td style="text-align: right;">55,886</td> <td>65名、報酬、通勤費、出張旅費</td> </tr> <tr> <td>小学校学校図書館サポーター</td> <td style="text-align: right;">29,904</td> <td style="text-align: right;">22,428</td> <td>年間105回 89校 @2,400</td> </tr> <tr> <td>中学校学校図書館サポーター</td> <td style="text-align: right;">6,888</td> <td style="text-align: right;">6,888</td> <td>年間70回 41校 @2,400</td> </tr> <tr> <td>読書ノート印刷費</td> <td style="text-align: right;">2,555</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td style="text-align: right;">146</td> <td style="text-align: right;">428</td> <td>講師謝礼、会場使用料、消耗品</td> </tr> <tr> <td>読書ノート</td> <td></td> <td style="text-align: right;">680</td> <td>委託料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">91,218</td> <td style="text-align: right;">101,313</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等	学校図書館職員	15,003	15,003	5名、報酬、通勤費、出張旅費	学校司書	36,722	55,886	65名、報酬、通勤費、出張旅費	小学校学校図書館サポーター	29,904	22,428	年間105回 89校 @2,400	中学校学校図書館サポーター	6,888	6,888	年間70回 41校 @2,400	読書ノート印刷費	2,555			研修	146	428	講師謝礼、会場使用料、消耗品	読書ノート		680	委託料	合計	91,218	101,313
	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等																																					
	学校図書館職員	15,003	15,003	5名、報酬、通勤費、出張旅費																																					
	学校司書	36,722	55,886	65名、報酬、通勤費、出張旅費																																					
	小学校学校図書館サポーター	29,904	22,428	年間105回 89校 @2,400																																					
	中学校学校図書館サポーター	6,888	6,888	年間70回 41校 @2,400																																					
	読書ノート印刷費	2,555																																							
	研修	146	428	講師謝礼、会場使用料、消耗品																																					
	読書ノート		680	委託料																																					
合計	91,218	101,313																																							
<p>スケジュール(経過及び今後展開)</p>																																									
<p>【経過(～2年度)】 ・拠点校5小中学校 ・学校司書41中学校(週2日 勤務) ・学校司書89小学校(週1日 勤務) ・学校図書館サポーター (小:年140回 中学校:年70回)</p>		<p>【3年度】 ・拠点校5小中学校 ・学校司書41中学校(週2日 勤務) ・学校司書89小学校(週2日 勤務) ・学校図書館サポーター (小:年105回 中学校:年70回)</p>		<p>【今後予定(4年度～)】 ・拠点校2小中学校 ・学校司書42中学校(週2日 勤務) ・学校司書91小学校(週2日 勤務) ・学校図書館サポーター (小:年105回 中学校:年70回)</p>																																					
<p>その他 特記事項</p> <p>関連事業:</p>																																									

学校図書館教育推進事業

令和3年度

配置
イメージ

月	火	水	木	金
サポーター	司書	サポーター	司書	サポーター

月	火	水	木	金
サポーター	司書		司書	サポーター

合計101,313千円

小学校 学校司書 週2回勤務
学校図書館サポーター 週3回 (105回)

学校司書(44名) 報酬 4,730円×160日×22人 4,550円×160日×21人 4,550円×80日×1人 通勤費 750円×160日×43人 750円×80日×1人 出張旅費 500円×12か月×44人 合計37,786千円	学校図書館サポーター 2,400円×105回×89校 合計22,428千円
--	--

中学校 学校司書 週2回勤務
学校図書館サポーター 週2回 (70回)

学校司書(21名) 報酬 4,730円×160日×20人 4,730円×80日×1人 通勤費 750円×160回×20人 750円×80回×1人 出張旅費 500円×12か月×21人 合計18,100千円	学校図書館サポーター 2,400円×70回×41校 合計6,888千円
---	--

学校図書館職員
 報酬・期末手当 14,143千円
 出張旅費 500円×12か月×5人
 巡回旅費1,000円×10回×5人
 通勤費 780千円
 合計15,003千円

小学校

その他 1108千円

中学校

拠点校5校

配置
イメージ

月	火	水	木	金
サポーター	司書	サポーター	サポーター	サポーター

月	火	水	木	金
サポーター	司書		司書	サポーター

合計91,218千円

令和2年度

小学校 学校司書 週1回勤務
学校図書館サポーター 週4回 (140回)

学校司書(22名) 報酬 4,550円×160日×22人 出張旅費 500円×12か月×22人 通勤費 750円×160回×22人 合計18,788千円	学校図書館サポーター 2,400円×140回×89校 合計29,904千円
---	--

中学校 学校司書 週2回勤務
学校図書館サポーター 週2回 (70回)

学校司書(21名) 報酬 4,550円×160日×21人 出張旅費 500円×12か月×21人 通勤費 750円×160回×21人 合計17,934千円	学校図書館サポーター 2,400円×70回×41校 合計6,888千円
---	--

学校図書館職員
 報酬・期末手当 14,143千円
 出張旅費 500円×12か月×5人
 巡回旅費1,000円×10回×5人
 通勤費 780千円
 合計15,003千円

小学校

その他 2,701千円

中学校

拠点校5校

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画 / 施策番号
3-(2)

局・課名 : 教育委員会事務局 学校指導課

事業名	社会的実践力向上推進事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額
			50,347	113,658	131,521
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間		要求額(千円)
	義務教育9年間の一貫した教育システムのもと、言語能力を基盤とした「総合的な学力(学力・社会的実践力・学びの基礎力の3つからなる)」のうち社会的実践力の向上に資する事業。		R ~ R		
	【内容】	主な要求内容 (単位:千円)			
	○子ども塚学推進プログラム ・子ども塚学:各校区の歴史・文化・自然などの特徴を生かし、「地域を学ぶ」「地域で学ぶ」「塚を学ぶ」9年間を見通した「子ども塚学」の充実を図る。 ・キャリア教育・防災教育・環境教育:塚にゆかりのある職業人や環境、防災に関する人物と触れる機会を創出し、キャリア教育、環境教育、防災教育の充実を図る。 ○子どものアートによる地域活性化プログラム ・文化芸術の発信・交流拠点として塚ブランドの確立及びアートの仕かけによる市内循環の創出など、子どもの豊かな心の育成と中心市街地の活性化を図る。 ○地域人材活用プログラム ・地域人材等を積極的に活用することで、学校園の教育活動を支援し、学校教育の活性化を図る	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等
		○地域人材活用プログラム	57,767	54,599	スクールサポーター派遣
		○子どものアートによる地域活性化プログラム	37,136	31,904	アートクラブグランプリinSAKAI・塚っ子書道展等
		・子ども塚学	14,620	13,111	子ども塚学サポーター・副読本など
		・キャリア・防災・環境	4,135	1,835	ゆめ授業・キャリアパスポートなど
		○新型コロナ対応サポーター	0	30,072	
		合計	113,658	131,521	
	【今年度要求のポイント】	スケジュール(経過及び今後展開)			
来年度も新型コロナに関する様々な対応等が想定される中、学校園できめ細かな指導の充実が図られるようスクールサポーター派遣を継続する。 本事業は人格の完成をめざす豊かな感性や創造性の涵養と、学校の特色や地域の実情を踏まえ社会的な自立をめざす社会的実践力の向上に資する事業であるため、継続して実施する。	【経過(~2年度)】 キャリアパスポート作成 新型コロナ対応サポーターの活用	【3年度】 各事業継続実施		【今後予定(4年度~)】 各事業継続実施	
	その他 特記事項				
	関連事業:				

■目的

感染症対策予防を図りながら、子どもたちを誰一人取り残すことなく最大限に学びを保障するため、学校園での業務をサポートするために新型コロナウイルス対応サポーターを配置する。

新型コロナウイルス対応サポーターについて

教師志望の学生をはじめとする大学生や地域在住の方を広く募集する。

サポート活動の例

- 子どもたち一人ひとりの学習定着度に応じたきめ細かな指導を図るための指導補助
- 家庭学習の準備や実施、提出状況の確認などの学級担任の補助
- 休憩時間等の児童・生徒の見守り
- 登校時の児童・生徒の健康観察チェック
- 使用後の学習用具の消毒など後片付けの支援

令和3年度

小学校

配当回数
100回

中学校
高等学校（全日制）

配当回数
70回

支援学校
中学校（夜間学級）
高等学校（定時制）

配当回数
50回

30,072千円（うち国補助10,024千円）

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画

施策番号

3-(2)・3-(5)

局・課名：教育委員会事務局 生徒指導課

事業名	部活動推進事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額																																																
			78,960	100,235	120,366																																																
<p>【目的】</p> <p>部活動を活性化させることにより、子どもの個性の伸長や健康増進を図り、体力・自尊感情・規範意識を向上させ、礼儀を重んじ人を思いやる心、自主自立的な態度を育成するとともに、部活動における生徒・保護者の負担を軽減する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の運営に必要な経費を配当する。 ・全国大会・地方大会出場生徒に交通費、用具運搬費を補助する。また、出場生徒の栄養を讃え、奨励金(全国大会10,000円、地方大会3,000円)を支給する。 ・専門的かつ高度な技能・指導力を有する指導者を、必要とする部活動のある学校に派遣する。 ・在籍する中学校に希望する部活動がない生徒のニーズに応えるため、種目別拠点校を設置する。 ・教員の負担軽減を図るため、部活動指導員を派遣する。 <p>【今年度要求のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額な楽器を使用する吹奏楽部等の負担軽減にかかる経費を要求する。 ・部活動の推進と教員の負担軽減のため、部活動指導員の配置人数増を要求する。 	<p>債務負担行為</p> <p style="text-align: center;">期間 R ~ R</p>	要求額(千円)																																																			
		<p>主な要求内容 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 10%;">2年度予算</th> <th style="width: 10%;">3年度要求額</th> <th style="width: 50%;">内容・積算等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国大会・地方大会補助金・奨励金、等</td> <td style="text-align: center;">4,961</td> <td style="text-align: center;">5,906</td> <td>補助金4,261千円、奨励金1,645千円</td> </tr> <tr> <td>ドリームクラブ拠点校</td> <td style="text-align: center;">1,563</td> <td style="text-align: center;">1,563</td> <td>消耗品費100,000円×10校、全国大会顧問旅費63千円、女子サッカー500千円</td> </tr> <tr> <td>部活動推進用具整備費</td> <td style="text-align: center;">11,761</td> <td style="text-align: center;">11,861</td> <td>消耗品費</td> </tr> <tr> <td>吹奏楽部等支援</td> <td style="text-align: center;">10,000</td> <td style="text-align: center;">10,000</td> <td>400,000円×25校</td> </tr> <tr> <td>部活動外部指導者、音楽系部活動技術指導謝礼金</td> <td style="text-align: center;">35,424</td> <td style="text-align: center;">35,424</td> <td>2,400円×13,860回、10,000円×216回</td> </tr> <tr> <td>部活動指導者講習会業務</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td>講師謝礼、会場費等</td> </tr> <tr> <td>中体連等負担金</td> <td style="text-align: center;">5,488</td> <td style="text-align: center;">5,488</td> <td>負担金</td> </tr> <tr> <td>部活動指導者ハンドブック</td> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>ハンドブック印刷費</td> </tr> <tr> <td>堺市総合体育大会</td> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">360</td> <td>プログラム印刷費</td> </tr> <tr> <td>部活動指導員の配置</td> <td style="text-align: center;">29,938</td> <td style="text-align: center;">49,464</td> <td>報酬43,776,000円、旅費等5,688,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">100,235</td> <td style="text-align: center;">120,366</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等	全国大会・地方大会補助金・奨励金、等	4,961	5,906	補助金4,261千円、奨励金1,645千円	ドリームクラブ拠点校	1,563	1,563	消耗品費100,000円×10校、全国大会顧問旅費63千円、女子サッカー500千円	部活動推進用具整備費	11,761	11,861	消耗品費	吹奏楽部等支援	10,000	10,000	400,000円×25校	部活動外部指導者、音楽系部活動技術指導謝礼金	35,424	35,424	2,400円×13,860回、10,000円×216回	部活動指導者講習会業務	300	300	講師謝礼、会場費等	中体連等負担金	5,488	5,488	負担金	部活動指導者ハンドブック	400	0	ハンドブック印刷費	堺市総合体育大会	400	360	プログラム印刷費	部活動指導員の配置	29,938	49,464	報酬43,776,000円、旅費等5,688,000円	合計	100,235	120,366
	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等																																																	
	全国大会・地方大会補助金・奨励金、等	4,961	5,906	補助金4,261千円、奨励金1,645千円																																																	
	ドリームクラブ拠点校	1,563	1,563	消耗品費100,000円×10校、全国大会顧問旅費63千円、女子サッカー500千円																																																	
	部活動推進用具整備費	11,761	11,861	消耗品費																																																	
	吹奏楽部等支援	10,000	10,000	400,000円×25校																																																	
	部活動外部指導者、音楽系部活動技術指導謝礼金	35,424	35,424	2,400円×13,860回、10,000円×216回																																																	
	部活動指導者講習会業務	300	300	講師謝礼、会場費等																																																	
	中体連等負担金	5,488	5,488	負担金																																																	
部活動指導者ハンドブック	400	0	ハンドブック印刷費																																																		
堺市総合体育大会	400	360	プログラム印刷費																																																		
部活動指導員の配置	29,938	49,464	報酬43,776,000円、旅費等5,688,000円																																																		
合計	100,235	120,366																																																			
<p>スケジュール(経過及び今後展開)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">【経過(～2年度)】</th> <th style="width: 33%;">【3年度】</th> <th style="width: 33%;">【今後予定(4年度～)】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全中高(44校)の10校に18名を配置する。効果検証の継続</td> <td>12名増員し、30名を配置。効果検証の継続</td> <td>全中高(44校)に1名配置。(44名)</td> </tr> </tbody> </table>						【経過(～2年度)】	【3年度】	【今後予定(4年度～)】	全中高(44校)の10校に18名を配置する。効果検証の継続	12名増員し、30名を配置。効果検証の継続	全中高(44校)に1名配置。(44名)																																										
【経過(～2年度)】	【3年度】	【今後予定(4年度～)】																																																			
全中高(44校)の10校に18名を配置する。効果検証の継続	12名増員し、30名を配置。効果検証の継続	全中高(44校)に1名配置。(44名)																																																			
<p>その他 特記事項</p> <p>関連事業:</p>																																																					

目的

中学校部活動を活性化させ、子どもの個性の伸長や体力向上、健康増進、自尊感情・規範意識の向上、礼儀を重んじ、人を思いやる心、自主自立的な態度を育成するとともに、全国大会等出場における保護者の負担を軽減する。

Point

部活動指導員の全校配置

○部活動の充実、活性化及び教員の負担軽減を図るため、教員に替わって部活動指導を行う指導者を全校に派遣

主な事業内容

- 専門的かつ高度技能及び指導力を有する外部指導者を必要とする部活動のある学校に派遣
35,424千円
- 全国大会・地方大会に参加した生徒には、奨励金と交通費を支給
5,906千円
- 種目別ドリームクラブ拠点校設置
1,563千円
- 部活動の運営に必要な消耗品を配当
11,861千円
- 楽器を維持・整備(購入及び修繕)するための費用
10,000千円

意欲向上

地域貢献

達成感、充実感

教員負担軽減

部活動指導員の配置(拡充)

- 学校におけるスポーツ、文化、科学の振興等に関する教育活動に係る技術的な指導に従事する部活動指導員を配置し、中学校における部活動の指導体制の充実をはかるとともに、部活動指導における教員の負担軽減をはかる。
- 令和3年度は、令和2年度の配置校に加え12名増員する。

R02 18名 → R03 30名
予算 49,464,000円

【今後の展開】

R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
部活動指導員 全中高(44校)の10校に18名を配置する。効果検証の継続	部活動指導員 30名を配置。効果検証の継続	部活動指導員 全中高(44校)に1名配置(44名)	部活動指導員 小規模校を除く、全校2名の配置(82名)	部活動指導員 小規模校を除く、全校3名の配置(121名)



効果

- ・生徒、保護者の部活動に係る負担を軽減し、多様なニーズに応えることができる。
- ・魅力ある指導性の高い部活動を展開することで、部活動の充実と活性化を図ることができる。
- ・生徒の技能が向上するとともに達成感や充実感を感じることができ、生徒の自尊感情を高めることができる。
- ・教員の部活動指導に係る負担を軽減する。



令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画

施策番号

3-(3)・3-(5)・

局・課名：教育委員会事務局 生徒指導課

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額	
		21,866	46,370	102,670		
事業概要	【目的】	債務負担行為		期間	要求額(千円)	
	いじめ、不登校、暴力行為など生徒指導上の課題や児童虐待に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技能を用いて、児童生徒の置かれたさまざまな環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカー(SSW)を活用し、教育相談体制を整備する。	R ~ R				
	【内容】	主な要求内容 (単位:千円)				
	<p>OSSWを会計年度任用職員として任用し、区担当として活用、各区役所に相談窓口を設置し、各区の子育て支援課や生活支援課等と連携しながら、子どもや家庭への適切な支援を図る。</p> <p>OSVが、それぞれの専門分野を生かし、区担当SSW(特に経験の浅いSSW)に対し、研修や助言を行う。</p>	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等	
		SSW報酬(区担当)	40,320	81,201	396,488円×12か月×16名、3,050円×104時間×16名	
		期末手当	0	13,608	396,488円×2.6月×8名分、396,488円×1.69月×8名分	
		スーパーバイザー 謝礼金	3,360	3,800	8,000円×95回×5名分	
		研修講師 謝礼金	69	69	23,000円×3回	
		旅費(通勤費)	2,184	2,799	14,574円×12か月×16名分	
		旅費(派遣要請)	335	1,085	5,651円×12か月×16名分	
旅費(研修)		66	66	32,600円×2名分		
保険料(謝金対応分)		26	32	5名分		
研修会場借上料		10	10	10,000円×1回		
	合計	46,370	102,670			
【今年度要求のポイント】	<p>本年度からスタートした会計年度任用職員について、本市が近隣市と比べて単価が低いことが影響し人材不足となったため、次年度は近隣市と同等の単価となるよう増額要求する。そうすることで、専門性の高い職員の任用を見込むことができ、さらなる相談・支援体制の充実や教育と福祉等の連携を強化することができる。</p>					
	スケジュール(経過及び今後展開)					
	【経過(～2年度)】 SSW:14人 活動日:週4日(区担当) SV:4人	【3年度】 SSW:16人 活動日:週4日(区担当) SV:5人	【今後予定(4年度～)】 国の動向・情勢や堺市の状況を考え検証していく			
	その他 特記事項					
	関連事業:					

スクールソーシャルワーカー活用事業 【拡充】

R3年度予算要求額; 102,670千円 (56,300千円増)

目的：いじめ、不登校、暴力行為など生徒指導上の課題や児童虐待に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技能を用いて、子どもの置かれたさまざまな環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカー（SSW）を活用し、教育相談体制を整備する。



- 予算要求のポイント
- SSW:単価増額
月額203,900円→
396,488円
 - SSW増員14名→16名
 - スーパーバイザー体制の強化（4名→5名）
 - 区役所での活動日
週2半日勤務を継続

- ① SSWの資質向上を図り、事業の充実を図る。
- ② 拠点校を増やすとともに、巡回訪問を積極的に行い課題の早期発見・早期解決に努める。
- ③ 継続支援の充実を図る。

●国の動向
【目標】平成31年度までに、**SSWを全ての中学校区に配置**（約1万人）

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画 / 施策番号
3-(2)・3-(3)

局・課名：教育委員会事務局 生徒指導課

事業名	スクールカウンセラー配置事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額	
			76,701	82,035	97,902	
<p>【目的】 幼児児童生徒、教職員及び保護者が臨床心理に関して高度な専門的知識及び経験を有するスクールカウンセラーの相談を受けることができる体制を整備し、児童生徒のいじめ、不登校、問題行動等の早期発見・早期解決に向け、適切に対応するとともに、児童生徒等の心の健康を維持できるようにする。</p> <p>【内容】 ■スクールカウンセラーを配置し、児童生徒に対するカウンセリング及び教職員・保護者等への助言・援助を行う。未配置の学校園には、配置校からスクールカウンセラーを派遣する。</p> <p>概要 ■スクールカウンセラースーパーバイザーを配置し、スクールカウンセラーからの相談に応じ、指導助言する。</p> <p>■いじめ等の相談窓口を記載した「いじめ等相談窓口カード」を作成し配付する。</p> <p>【今年度要求のポイント】 ■令和3年に小中一貫校及び1小1中学校区(4校)を除き、堺市内の中学校区に2名配置をめざし、小学校を拡充。(中学校1名 中学校区内小学校に1名配置) ※【令和2年度の状況】 小 92校中 25校配置 中 43校中 43校配置 高 1校中 1校配置</p>	<p>債務負担行為</p> <p style="text-align: center;">期間 R ~ R</p>	要求額(千円)				
		主な要求内容 (単位:千円)				
	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等		
	スクールカウンセラー報酬	75,712	91,000	5200円×6時間×35回×82校 5200円×8時間×35回×1校		
	緊急対応スクールカウンセラー	1,248	1,248	5200円×240回		
	SCスーパーバイザー報酬	52	52	5200円×10回		
	SC研修講師謝礼金	92	92	23,000円×2回×2人		
	SC出張旅費	10	10	2,000円×5回		
	SC通勤費	3,623	4,358	1,500円×35回×(39+43+1)校		
	緊急対応SC出張旅費	468	312	1,300円×240回		
いじめ相談カード印刷費	630	630	印刷費			
SC全体研修舞台会場料等	200	200				
合計	82,035	97,902				
スケジュール(経過及び今後展開)						
<p>【経過(～2年度)】 小学校25校 中学校全校 高等学校全校 配置</p>		<p>【3年度】 小学校39校(14校増) 中学校全校 高等学校全校</p>		<p>【今後予定(4年度～)】 国の動向・情勢や堺市の状況を考え検証していく</p>		
その他 特記事項						
関連事業:						

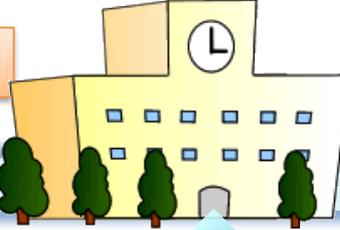
スクールカウンセラー配置事業

令和3年度要求額 97,902千円

目的： 幼児児童生徒、教職員及び保護者が臨床心理に関して高度な専門的知識及び経験を有するスクールカウンセラーの相談を受けることができる体制を整備し、児童生徒のいじめ、不登校、問題行動等の早期発見・早期解決に向け、適切に対応するとともに、児童生徒等の心の健康を維持できるようにする。



チーム学校



関係機関



予算要求のポイント

■ SC配置増
(小学校25→39校)

【令和2年度の状況】

小	92校中	25校配置
中	43校中	43校配置
高	1校中	1校配置

スクールカウンセラー (SC)
資格：臨床心理士・公認心理師

- 児童生徒の心のケア
- 教職員・保護者等への助言・援助

複雑化・困難化する
教育課題等への対応

いじめ

不登校

暴力行為

虐待

友人



児童生徒



家庭

● 国の動向

【令和元年度】スクールカウンセラー配置の増 ※全公立小中学校へ配置完了予定

● 近隣政令市の動向

【令和2年度】 神戸市 (小中高支援 全校配置) 京都市 (小中高支援 全校配置) 大阪市 (中 全校配置 小 約68%の配置) 堺市 (中高 全校配置 小 約27%の配置)

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画

施策番号

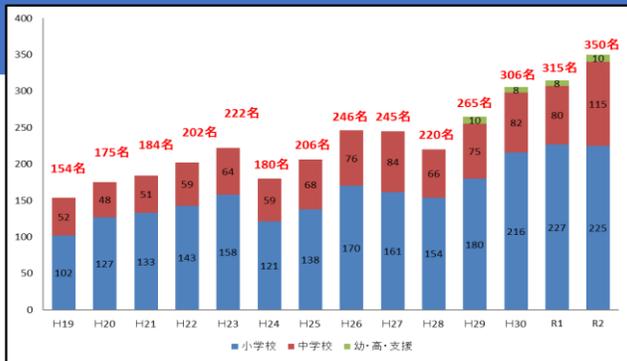
3-(3)・3-(4)・

局・課名：教育委員会事務局 人権教育課

事業名	多文化共生推進事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額	
			18,302	18,416	21,065	
<p>【目的】</p> <p>豊かな国際性を備えた自由都市・堺の子どもたちを育成するとともに、すべての在日外国人及び帰国・渡日の子どもの自立し、安心して学校生活を送られるよう支援する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外から帰国・渡日し、日本での学校生活に慣れていない幼児児童生徒が安心して学校園生活を送れるよう、在籍する学校園に帰国・来日児童生徒等寄添い指導員を派遣する。 ・生活言語能力習得のための日本語指導を行うセンター校に、教員の支援を行う自立支援日本語指導員を派遣する。 ・学習言語能力が未習得のため学習に困難のある児童生徒に対して、在籍校に自立支援日本語指導員を派遣する。 ・在日外国人教育担当者会、在日外国人教育研究大会の開催 ・交流活動として、ワールド・子どもの集い等の開催 <p>【今年度要求のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から運営を開始した日本語指導センター校を更に充実させるとともに、児童生徒や学校の現状を踏まえ、。日本語指導の必要な子どもにきめ細かな指導を行うために指導員派遣事業を拡充する。 ・指導員の処遇を見直すことで、日本語指導の能力が高い指導員を確保し、質の高い日本語指導を継続して行い、児童生徒が日本の学校で持てる力を発揮できるよう、体制を構築する。 	<p>債務負担行為</p> <p style="text-align: center;">期間</p> <p style="text-align: center;">R ~ R</p>	<p>要求額(千円)</p>				
	主な要求内容 (単位:千円)					
	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等		
	自立支援日本語指導員謝金	3,500	16,426	2,620回		
	帰国・来日生徒等寄添い指導員謝金	2,200	2,200	400回		
	日本語学習支援指導員謝金	10,087				
	在日外国人教育研究業務	1,108	1,108			
	旅費(センター校巡回指導)	231	431			
	ICT整備	1,290				
	備品		300			
消耗品		600				
合計	18,416	21,065				
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～2年度)】		【3年度】		【今後予定(4年度～)】		
継続実施		事業見直し		継続実施		
その他 特記事項						
関連事業:						

多文化共生推進事業

日本語指導が必要な児童生徒数
 H28：220名、H29：265名、
 H30：306名、R1：315名、R2：350名
 R3:350名（見込み）



予算要求額（単位：千円）
 21,065（国補助6,208）

令和2年度 日本語指導体制

令和3年度 日本語指導体制

日本語指導センター校での初期日本語指導

★通級型3校（堺区・北区・南区）、巡回型1校（堺区）を設置
 [通級：週2回程度、1回3時間 巡回：週1回、1回3時間の指導]

・高い専門性を備えた教員と自立支援日本語指導員による効果的に生活言語能力レベルの日本語指導の実施



拡充

★通級型センター校を1校増設（中区）し4校に拡充
 [通級：週2回程度、1回3時間 巡回：週1回、1回3時間の指導]

★通級型センター校4校すべてに高い専門性を備えた教員を2名配置・初期日本語指導が必要な児童生徒に対してきめ細かな支援を行う。

見こまれる成果

・通級センター校を中区に増設することで、より通級しやすい環境を整備
 ・児童生徒の受入体制の拡充

成果

・児童生徒の確実な日本語習得
 ・児童生徒の日本語習得状況の正確な見とりが可能
 ・保護者も含めたきめ細かな支援の実現

外部人材の処遇を見直し、よりよい日本語指導体制を確保

・有償ボランティアとして登録
 ・1回5,500円/2時間→1回5,500円/3単位時間へ見直し

課題

・時間単価の減に伴い、近隣市町へ人材が流出する可能性が高い。
 ・日本語指導の時間が午前が中心となり、児童生徒に対して柔軟な対応ができない。



見直し

・有償ボランティアとして登録（変更なし）
 ・1回8,300円/3時間（日本語指導センター校へ派遣）
 ・1回5,500円/2時間（上記以外）

へ変更

見こまれる成果

・より専門性の高い指導員を確保することができる。
 ・児童生徒の状況に応じて柔軟な日本語指導が可能となる。

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画 / 施策番号
3-(2)

局・課名 : 教育委員会事務局・企画情報課

事業名	学校教育ICT化推進事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額	
			1,261,355	1,511,971	2,490,255	
事業概要 【目的】 本事業は、次代を担う子どもたちの情報活用能力の育成、教員の授業改善、校務の効率化を目的としている。そのために、情報教育の推進、学校園におけるICT環境の整備、校務事務等のICT化の促進、情報モラル教育の推進、教職員へのICT研修、積極的な地域・市民への学校情報の発信など、学校教育ICT化の推進を行う。 【内容】 ○教育情報ネットワーク(教育用イントラネット)の維持管理 ○校務用コンピュータの整備・維持管理 ○教育用コンピュータの整備・維持管理 ○各種システムの整備・維持管理 ○ICT学習環境の整備・維持管理 ○学校園の情報セキュリティに関すること ○学校園ホームページの維持管理 ○ICTIに関する教職員研修 【今年度要求のポイント】 ・GIGAスクール構想推進 ・学習者用端末賃貸借 ・教育用クラウドプラットフォーム賃貸借 ・家庭学習用インターネット回線等の提供(2,500回線分) ・GIGAスクールサポーター配置(4校に1人の割合) ・教育情報ネットワーク各種システムの構築 ・リース切れ端末の更新	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
		R ~ R				
	主な要求内容 (単位:千円)					
	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等		
	GIGAスクール構想推進		1,095,156			
	教育情報ネットワーク各システム構築		14,192			
	リース切れ端末の更新		79,748			
	使用料及び賃借料	1,375,079	1,223,320			
	報酬、職員手当等、報償費	2,972	2,972			
	旅費	658	662			
需用費	5,048	5,000				
委託料	123,210	69,201				
備品購入費、負担金、補助及び負担金	5,004	4				
合計	1,511,971	2,490,255				
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～2年度)】		【3年度】		【今後予定(4年度～)】		
・GIGAスクール構想推進		・GIGAスクール構想推進		・老朽化機器等順次更新 ・教育情報ネットワークのセキュリティの強靱化対応		
その他 特記事項						
関連事業:						

方向性

- **Society5.0という新たな時代を担う子どもたちの育成に資するための教育ICT環境整備**
～文章や情報を正確に読み解き、対話する力・科学的に思考・吟味し活用する力・価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力～

授業改善

- 子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育の実現
- 一人も取り残さない教育の実現

業務改善

- 情報の見える化による教職員の働き方改革の推進

新・堺スタイル R3.4～

GIGAスクール構想による一人一台端末(学校・家庭での活用)

資料・教材の
配布・回収

協働学習

個別最適化ドリル
による学習



プログラミング教育
情報リテラシーの育成

融合 + 授業内容の充実・活性化

「大型テレビ+指導用タブレット」による資料提示・児童生徒のノート共有

個に応じた活用

- 不登校や療養中の児童生徒等への支援
- 特別支援教育におけるICT活用
- 日本語指導が必要な児童生徒等への支援

長期休業時等の対応

- 自宅学習（個別最適化ドリル）

【内容】

上記内容の実現のために以下の業務について拡充を行う。

- 一人一台端末等のリース
- 緊急時におけるWi-Fi環境が整っていない家庭に対する通信回線整備
- GIGAスクールサポーターの配置

【予算要求額】

2,490,255千円（うち増額分978,284千円）

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画

施策番号
3-(4)

局・課名 : 教育委員会事務局 学校給食改革室

事業名	中学校給食改革事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額
				23,852	43,643
<p>【目的】</p> <p>堺市立中学校において、現在行っている小学校給食の取組を生かしながら、給食を生きた教材として活用する食育を推進できることから、選択制から全員喫食制の中学校給食への移行に向けて取り組む。</p> <p>【内容】</p> <p>全員喫食制の中学校給食の早期実現に向け、給食センターの整備・運用、中学校配膳室の整備、食に関する衛生管理体制や指導体制の確立などを進めていく。</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>PFI導入可能性調査の結果を踏まえ、給食センターの整備・運営に関する準備行為を行う。</p>	<p>債務負担行為</p> <p style="text-align: center;">期間 R3～ R4</p> <p style="text-align: right;">要求額(千円) 54,000</p>	主な要求内容 (単位:千円)			
		項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等
	給食センターの整備・運営に関する準備行為	23,392	26,777	施設整備調査業務等	
	中学校内環境整備		16,797	工事に係る経費	
	各種マニュアル作成準備関係		69	謝礼金	
	懇話会経費	460			
		合計	23,852	43,643	
スケジュール(経過及び今後展開)					
<p>【経過(～2年度)】</p> <p>・PFI導入可能性調査の実施</p>		<p>【3年度】</p> <p>・給食センターの整備・運営に関する準備行為</p>		<p>【今後予定(4年度～)】</p> <p>・給食センターの整備・運営に関する準備行為</p>	
その他 特記事項					
<p>関連事業:</p>					

中学校給食改革事業（拡充）

— 選択制から**全員喫食制中学校給食**への移行に向けて取り組みます —

本市の中学校給食については、平成28年11月から全校において、民間調理場を活用したデリバリー方式の選択制給食を実施しています。

中学校給食は、学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた豊かな食事を生徒に提供することで、生徒の健康の保持増進や体位の向上を図るものであり、これらを通して日常生活における正しい食習慣を身に付けることができます。また、全員喫食制で生徒が同じ食事を共にすることは、給食を活用した食に関する指導を継続的に展開でき、指導の充実につながります。

中学校においても、現在行っている小学校給食の取組を活かしながら、給食を生きた教材として活用した食育を推進することから、全員喫食制の中学校給食の実施に向け取組を進めます。



高度な衛生管理による安全安心でおいしい給食を提供します



令和2年度

- 中学校給食検討懇話会の開催
- 堺市中学校給食改革実施方針の策定
- PFPI導入可能性調査の実施
- 中学校内環境整備に関する調査など

令和3年度

- 給食センターの整備・運営に関する準備行為
- 中学校内環境整備
- （仮称）堺市中学校給食改革実施計画の策定

など

令和4年度以降

- 実施計画に基づく各種取組